

東日本大震災 対策本部情報	24号	2011/03/21 17:00現在
------------------	-----	-----------------------

各地本委員長殿

たしろ議員の繰り返し要請により

被災地に燃料が届く！宮古でガソリン給油再開！

たしろ参議院議員は、3月15日に「民主党東北地方太平洋沖大地震対策本部」に現地組合員からの「支援物資や安否確認を行うためにはガソリンが必要」との悲痛な声を直接伝えました。また、そのなかで効率的に大量輸送を実現するには貨物列車による輸送が有効であると訴えました。

昨日、JR貨物によって盛岡まで運ばれた燃料がタンクローリーに積み換えられて、宮古などの被災地に運ばれています。今後も1日1列車で盛岡まで燃料輸送が続きます。

本日、宮古の組合員から宮古市内のガソリンスタンドで給油が再開され、希望が沸いてきたと報告がありました。

また、陸前高田市や釜石市では、仮設住宅の建設が本格化し電気や水道などのライフラインも一部復旧し始めています。

しかし、岩手県災害対策本部の20日（15時）発表では、377箇所の避難所には4万7443人が避難生活を強いられています。

JR東労組全組合員で復興支援に向けて頑張りましょう。

以上
JR東労組本部